

知っ得情報

みなさん、こんにちは! 4月中旬を過ぎ、春の暖かさを感じるようになってきました。そんな春の陽気に誘われて、ゴールデンウィークは遠くへお出かけをするという方もいると思います。そこで今回はタイヤの点検のお話です。

長距離ドライブ前にはタイヤの点検を!

JAFの調べによるとゴールデンウィーク期間中で高速道路におけるJAFが行ったロードサービスの1位がタイヤのパンク、バーストと言われています。そのため、お出かけ前にはしっかりとタイヤの点検を行い、出先でのトラブルを未然に防ぎましょう。

○タイヤの溝の確認

• タイヤにあるスリップサイン(タイヤの摩耗限度をお知らせする表示)をみて溝の深さが十分であるか



• 極端にすり減っている箇所がないか
溝が少なくなると、雨の日に排水性が低下し、ブレーキ性能の低下や高速走行時の安定性の低下をまねく恐れがあります。

○タイヤの外傷の確認

• タイヤの全周に著しい傷やひび割れ、異物が刺さっていないか



傷や異物が刺さった箇所から空気が漏れていることがあり、タイヤがパンク、バーストしてしまう可能性があります。また年数が経ってくるとゴムが劣化してタイヤ全体にひび割れが起き、そこから空気が漏れてくることもあります。

○タイヤの空気圧の確認

• タイヤ接地部のたわみの状態が大きくふくらんでいないか

• タイヤが冷えているときにエアゲージを使って適正な空気圧であるか



タイヤの空気圧が不足していると、タイヤがたわみやすくなり、熱を持ちタイヤのバーストにつながる可能性があります。

以上の点検箇所を自分で行うのが一番望ましいですが、それが無理な場合は整備工場やガソリンスタンドなどで点検を行いましょう。また、タイヤの空気圧は正常な状態でも自然に抜けていきますので月1回を目安に点検しましょう。